

専攻実習 I

| | | | |
|-----|-------|-------|---|
| 講師名 | 皆川 歌織 | 実務経験等 | 農業改良普及センターでの普及指導員としての経験を活かし、野菜栽培や農業機械の知識と技術を習得するための実習を行う。 |
|-----|-------|-------|---|

| 科目区分 | 学科・経営科 | 必修・選択 (必修、自由)区分 | 履修 学年 | 開講 学期 | 標準 時間 | 単位数 |
|-------------|--|--------------------|----------|----------|----------|-----|
| 農産園芸学科・専門科目 | 農産園芸・野菜 | 必修 | 1 | 通年 | 360 | 8 |
| 使用教科書・副教材 | 2019年度野菜栽培技術指針(岩手県)、新版 野菜栽培の基礎、野菜づくり大事典、図解でよくわかる植物工場のきほん(誠文堂新光社)、楽しく作ろういわての恵み(岩手県農業改良普及会)、トマトの長期多段どり栽培～生育診断と温度・湿度制御～(農文協)、ハウスの環境制御ガイドブック～光合成を高めればもっととれる～(農文協)等 | | | | | |
| 授業の目的 | 主要品目の栽培管理技術を習得し、環境制御技術(スマート農業)及び国際基準GAP手法等を理解する。また、卒業研究に対する理解や意識を高める。 | | | | | |
| 授業の到達目標 | 主要品目の栽培管理技術が身に付き、環境制御技術(スマート農業)及び国際基準GAP手法の理解が深まる。また、卒業研究の目的や調査手法を理解し、卒業研究計画や作業計画を | | | | | |

| 月 | 学習項目 | 学 習 事 項 | 時間 | 授業 形式 | 備 考 (提出物等) |
|------|--------------------|---|-----|----------|---------------|
| 4 | ガイダンス | 実習を行う露地ほ場、ハウス、付帯施設を確認する。(4/12) | 2 | 講義 | |
| 4～7 | 育苗管理技術 | 野菜の育苗管理技術を習得する。 | 14 | 講義 実習 | |
| | 専門用語の習得、圃場の準備 | 肥料散布、作畦、マルチングなど、一連の圃場準備作業を習得し、専門用語を習得する。 | 32 | 講義 実習 | |
| 4～11 | 果菜類の栽培管理技術 | 定植、整枝、誘引、収穫、調製作業などの栽培管理技術を習得する。 | 48 | 講義 実習 | |
| | 果菜類の環境制御技術(スマート農業) | 環境制御技術を理解し、環境制御温室における果菜類の栽培管理技術を習得する。 | 32 | 講義 実習 | |
| | 葉根菜類の栽培管理技術 | 播種、移植、間引き、培土、収穫、調整作業などの栽培管理技術を習得する。 | 48 | 講義 実習 | |
| | 野菜の生育診断・病虫害診断 | 主要野菜の病虫害被害や生理障害の診断技術について理解する。 | 8 | 講義 実習 | |
| | 農業機械の運転操作 | 野菜生産に関わる農作業機械のほ場運転操作を習得し、安全操作技術を理解する。 | 16 | 講義 実習 | |
| | 野菜の調査研究 | 農大祭などに出品する野菜を調査研究することにより調査・分析方法を理解する。 | 16 | 講義 実習 | 提出物 (実習記録) |
| | ASIAGAP | 野菜における国際基準GAP手法について実習を通じて理解を深め、実践する。(4～11月:実践、10月:審査に向けた取り組み)(10/7,8) | 32 | 講義 実習 | |
| 6 | 卒業研究の検討 | 2年生の卒業研究現地検討会に参加し、その目的、試験区設定及び調査方法を理解する。(6/28) | 4 | 講義 | |
| 9 | 卒業研究の検討 | 2年生の卒業研究現地検討会に参加し、調査結果や考察を理解する。(9/10) | 4 | 講義 | |
| 12～3 | 卒業研究の計画作成・発表 | 次年度の卒業研究計画を作成し、発表する。 | 70 | 講義 実習 | 提出物 (実習記録) |
| | 卒業研究の栽培準備 | 卒業研究設計書に基づき栽培準備を行う。 | 34 | 講義 実習 | |
| 合計 | | | 360 | 時間 | |

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

技術の習熟度、出席状況、学習態度により評価する。

習熟度: 60%(技術の習熟度)

平常点: 40%(出席状況、学習態度)

履修に当たっての留意点等

圃場での実習が主体となるため、作業着・長靴等作業に適した服装で臨むこと。
天候や野菜の生育状況により、実習内容の変更や教室での講義に変更となる場合もある。